

テーマ 「暮らしを豊かにする木」

暮らしの中に石油製品が多用され、食器も家具・家材も軽くて丈夫な物で便利になった気がするが、でも何か満たされない思いがしている。

半世紀前の我家は、檜の大黒柱が家の中心を支え、屋根裏には、手斧で作った梁が組まれ、軒下には、広く長い縁側があった。建具も格子戸で、光と風が家の奥まで届いた。

食事時は、木の御櫃から杓文字で御飯をよそい、木のお椀に味噌汁がつけられた。日々の生活は贅沢ではないが、心豊かに暮らしていた。

石油資源は、限りがある。木は人が育てることのできる資源だと考える。

人が森を育て、森の恵みを得る。また森を育てる。この循環を整えることで、地球環境を守れることにもつながることを知った。

そして、木製品を利用し、木の温もりに包まれた心豊かな暮らしを取り戻したいと思う。